

金子直吉翁の件

城山三郎氏の「鼠」が改訂再版されて以来、弊社のみならず、貴社でも金子直吉翁の功績が話題にのぼっておられる様ですが、本日、偶々大阪本社の手帳を整理の際、別添の珍しい書類を発見致しました。
昭和19年2月金子翁が病を得られた死の直前に、元日商高畑会長が叙位叙勲を金子翁の為に取得せんと、その経歴と功績を取纏めて奔走された書類の様です。御参考迄にお届け申し上げます故、御一覽下さい。

東京都麴町区丸ノ内三丁目十二(仲三号館ノ二)
太陽産業株式会社東京支店 御中

高畑 誠 一

本 籍 高知市本丁筋百七拾番地ノ一(訂正二十五番地)

現住所 兵庫県武庫郡御影町字掛田一〇二三番地ノ一

正六位 金子 直 吉

経 歴

- 一、慶応式年六月十三日高知県吾川郡名野川ニ生ル 父ハ金子甚七、山内藩免許商人タリ
- 一、明治十六年始メテ高知市質商傍士久吉ニ仕フ
- 一、明治廿二年傍士久吉ノ推薦ニ依リ神戸市貿易商鈴木岩次郎ニ被雇、当時鈴木岩次郎ハ砂糖、石油、大豆粕、茶、シイタケ、其ノ他天産物の売買ヲ業トス
- 一、明治二十七年鈴木岩次郎死去後、よね未亡人ヲ輔ケ店務ヲ支配ス
- 一、明治三十五年十一月資本金五十万円ヲ以テ商店ノ組織ヲ合名会社ニ革メ其ノ責任社員トナリ社業ヲ隆々ト發展セシム、昭和九年資本金ヲ五千万円ニ増資ス 即チ神戸製鋼所(明治三十六年設立)製鋼ヲ始メ金属製レン、造船、炭礦セルロイド、窒素肥料、染料擬革、製糖、製塩、製粉、製油、人絹、毛織、樟腦、薄荷、麦酒、酒精、燐

四十二年)ノ如キ特ニ然リトス

然ルニ今や金子ノ命、旦夕ニ迫ル、金子死スト雖モ金子一生ニ殘セル事業ハ日本産業ニ永遠ノ光芒ヲ放チ、特ニ今次大東亞戦争ニ於テ緊要ナル軍需工業ニ寄与スルコト極メテ甚大ナルモノアリト確信ス、例ヘバ神戸製鋼所、播磨造船所、帝国人絹、大日本塩業、東京無線電機、日本冶金、日本セルロイド、旭石油(現昭和石油)クロード式窒素工業(現三池窒素工業)豊年製油、日沙商会(ボルネオ)国際汽船(現大阪商船)羽幌炭鉱、日輪ゴム工業、日本樟腦等々皆然ラザルハナシ吾等常ニ其ノ行ヲ共ニシ来レル者、此ノ金子ノ国家的功績ヲ惜ムノ余リ、敢テ不遜ヲ顧ミズ茲ニ其経歴ヲ述ベテ叙位叙勲ノ御沙汰ヲ拝シ度、恐懼希念スル次第ナリ。

昭和十九年二月

太陽産業株式会社

代表取締役 鈴木 岩 蔵

同 高畑 誠 一

相談役 鈴木 岩 治郎

備考 一、金子ノ企画ニ依ル主ナル事業一覽

(一)鈴木商店関係

東京都麴町区丸ノ内三丁目十二(仲三号館ノ二)

太陽産業株式会社東京支店 御中

高畑 誠 一

- 一、鈴木商店関係分
- 一、株式会社神戸製鋼所 明治三十六年
- 一、日本金属株式会社 大正 四年
- 一、日本冶金株式会社 大正 七年
- 一、播磨造船所 大正 四年
- 一、東京電線電機株式会社 大正 十年
- 一、沖見初炭坑株式会社 大正 四年
- 一、帝国炭業株式会社 大正 八年

寸、煙草等ノ鉱工業、英領ボルネオニ於ケルゴム栽培並ニ海運、倉庫、保険其他各般ノ事業ヲ經營シ現時国防国家トシテ有用ナル産業ノ基礎ヲ率先懸命ニシテ之ヲ築キ上ゲタリ、一面海外貿易の發展ニ尽瘁シ欧州大戦ニ際会シテハ、砂糖、麦粉、鉛、亜鉛、満州小麦等ノ諸物資ノ活潑ナル輸出(年額十億円以上)ヲ行フト共ニ所謂「日米船鉄交換」ノ協定ニ成功シ当年ノ国際収支ニ於テ二億円以上ヲ獲得、日本ノ海運力ニ約百万屯ノ船舶ヲ寄与スル等、本邦造船、海運界ニ貢献スル所夥カラズ(詳細ハ日米船鉄交換同盟史ニ記録セラ

ル)

- 一、大正十四年十一月十日畏クモ実業功労者トシテ正六位ニ叙セラ
- 一、大正十二年組織ヲ株式会社ニ革メ(資本金八千万円)上述セル各般ノ事業ヲ拡充發展セシムルト共ニ前人未踏ノクロード式空中窒素肥料ノ製造ヲ開始ス、商業貿易ニ在リテハ独リ内国商業及対外輸出入ノミニ止マラズ広ク小麦、砂糖等ノ国際貿易ニ進出シ我國貿易史上新紀元ヲ劃スルニ至ル

一、第一次欧州大戦休戦後華府會議ニ因ル軍備縮少、関東大震災等ニ因ル財界恐慌ニ際会シ昭和二年鈴木関係事業ノ整理ノ己ムナキニ至リタルモヨク不屈不撓、之ガ整理ニ日夜没頭スルコト約十年、傍ヲ唯一殘存セル太陽曹達株式会社(当時資本金百万円)ヲ根幹トシテ鈴木商店ノ復興ニ懸命シ昭和十四年社名ヲ太陽産業株式会社ニ革メ該博ナル経験ト絶大ナル根氣トヲ以テ別記諸事業ヲ逐次計画實施シ終始陣頭指揮、減私奉公、生産増強ニ従事シ漸ク復興ノ成果ヲ具現シツ、現在ニ至ル

要之金子五十五年ノ業蹟ハ上記経歴ニ依リ略々明ラカナルモ、其ノ理念ノ根本ハ「産業立国」ニ在リ、商業貿易ハ之ニ随伴シ或ハ産業發展ノ培養タリシモノト謂フベシ即チ其ノ商業貿易ニ於テ博セルトコロノ利潤ハ悉ク當時何人モ企及シ得ザリシ新事業ニ注入シ、敢テ其ノ犠牲損耗ヲ顧ミザリシニ見ルモ容易ニ其ノ理念ヲ看取シ得ル所ナルベシ、就中人絹、空中窒素等ノ化学工業ヲ始メ英領ボルネオニ於ケルゴム栽培事業(明治

- 一、基鴻炭業株式会社 大正 六年
- 一、大日本セルロイド株式会社 大正 五年
- 一、クロード式窒素肥料株式会社 大正 五年
- 一、帝国染料株式会社 大正 五年
- 一、東工業株式会社(擬革) 明治四十二年
- 一、東洋ファイバー株式会社 昭和 六年
- 一、株式会社大里製糖所 明治三十五年
- 一、南洋製糖株式会社 大正 四年
- 一、東洋製糖株式会社 明治四十二年
- 一、大日本塩業株式会社 明治四十二年
- 一、日本製粉株式会社 大正 二年
- 一、合同油脂株式会社 明治四十二年
- 一、豊年製油株式会社 大正 七年
- 一、株式会社東海製油所 大正 十年
- 一、旭石油株式会社 大正 七年
- 一、帝国人造絹糸株式会社 大正 五年
- 一、日本人造羊毛株式会社 昭和 九年
- 一、天満織物株式会社 明治二十五年
- 一、東京毛織株式会社 明治三十五年
- 一、日本樟腦株式会社 明治四十二年
- 一、再製樟腦株式会社 明治四十三年
- 一、帝国樟腦株式会社 大正 七年
- 一、支那樟腦株式会社 大正 七年
- 一、鈴木薄荷株式会社 昭和 二年
- 一、帝国麦酒株式会社 明治四十四年
- 一、日本酒精醸造株式会社 大正 三年
- 一、東洋燐寸株式会社 大正 二年
- 一、米星煙草株式会社 大正 八年

- 一、東亜煙草株式会社 明治四十四年 大正 二年
- 一、日本輪業株式会社

(現日輪ゴム工業株式会社)

- 一、南朝鮮製紙株式会社 大正 五年
- 一、大陸木材株式会社 大正 七年
- 一、株式会社日沙商会 明治四十二年
- 一、日本商業株式会社 大正 八年
- 一、太陽曹達株式会社 大正 九年
- 一、国際汽船株式会社 大正 五年
- 一、帝國汽船株式会社 大正 二年
- 一、山陽電気軌道株式会社 大正 六年
- 一、南朝鮮鐵道株式会社 大正 六年
- 一、株式会社浪華倉庫 昭和 二年
- 一、東神興業株式会社 大正 七年
- 一、長府土地株式会社 大正 七年
- 一、信越電力株式会社 大正 七年
- 一、太田川水電株式会社 大正 二年
- 一、大正生命保險株式会社 大正 九年
- 一、新日本火災保險株式会社 大正 二年
- 一、日本教育生命保險株式会社 大正 五年
- 一、東京海上火災保險株式会社 大正 五年
- 一、株式会社第六十五銀行

二、太陽産業株式会社関係分

- (一) 直営事業
 - 鋳 業 銅、水銀、硫黄、黒鉛、蠟石、鉛、亜鉛
 - 冶 金 フェロチタニウム
- 研究事業 日本蚕精絹糸研究所、青木化学研究所、仙台冶金研究所
- (二) 直轄会社 但※印は鈴木商店時代ノ復興ノモノトス

- ※株式会社 日沙商会

※日輪ゴム工業株式会社

- 羽幌炭礦鐵道株式会社
- 大川目鋳業株式会社
- 樺太ツンドラ工業株式会社
- 興亜鐵工所
- 日本金属化学株式会社
- ※帝國樟腦株式会社
- ※鈴木薄荷株式会社
- 伊豫窯業株式会社
- ※東神興業株式会社
- 日本土建興業株式会社
- 防石鐵道株式会社
- 東洋絹毛株式会社
- ※東洋産業株式会社
- 大成商事株式会社
- (三) 関係会社 ※印ハ鈴木商店時代ノ復興ノモノトス
 - ※株式会社 神戸製鋼所
 - 東洋金属株式会社
 - ※大日本塩業株式会社
 - 關東州加里工業株式会社
 - ※日本樟腦株式会社
 - 日高産業株式会社
 - ※米星産業株式会社
 - ※東洋ファイバー株式会社

ボルネオニ於ケル水銀、石炭、ゴム栽培等軍受命諸事業
航空機部門、エボナイト製品、工業用ゴム製品、各種ゴムホース、合成樹脂製品

石炭竝ニ鐵道輸送
水鉛選礦精レン
ツンドラ製品(防音、保温、冷蔵用)
機械、鋳物
稀有金属製レン
樟樹植林、樟腦製造
薄荷製造

工業用耐火煉瓦
工業用土地ノ埋築、土木
土地建物ノ経営
鐵道運輸
人絹、スフ
事業投資

北海道ニ於ケル物資賣買其他諸事業

製鋼、機械、輕合金
アルミニウム金属、マグネシウム製レ

製塩
加里、臭素、塩化マグネシウム
樟腦製造

輸出入貿易、諸工業
葉煙草、卷煙草、投資
ファイバー製品

会務報告

平成元年一月十九日(木)

於 東明閣

幹事 小倉 五郎

先づは明けましておめでとう御座います。本日は生憎の天候で足許の悪い裡をよくいらして下さいました。本堂に有り難う御座居ました。今朝程来考えていたのではありませんが辰巳会に傘を持って参加した記憶がどうしても想い出せなかつたのでありますが先程、このビルに這入る直前、アノ四十五年の奈良依水園に於ける土砂降りの中の全国大会を想い出したのでありますが皆さん如何ですか。

サテ夫れはさておき、皆さんには益々御健勝の御様子にて恠に喜ばしく存する次第であります。処で今回は取り立てて御報告申上ぐ可き事項はありませんが、先ず昨年五月十二日西浦温泉で開催

致しました全国大会以後に連絡のありました物故者を御報告申し上げます。

物故者

六十三 五月十二日

於西浦温泉全国大会以後

四九・一・十七

西宮市 徳永芳一 壹

帝國炭業(株)

六三・一・四

神戸市 三木秀介 壹

本店保險部

六三・七・二六

小樽市 深谷良一 叁 小樽支店

六三・十二・十二

名古屋市 竹下富士松 壹

本店教育係

以上四名の方でありまして例年に比べ非常に少くそれ丈皆さん方の健康に対する御留意の程が窺える訳と存する次第であります。

尚只今御報告申し上げました三木秀介氏及び竹下富士松氏は皆さん御承知の先に亡くなれました久塚磨氏及び田中四郎氏のこの四人の方々は後期に於て毎年相次で学生角力全国大会で優勝せら

れ「辰」の名物男として勇名を全国に馳せられた方々であります。今は幽明境を異にし只々寂しき限りであります。尚ついでと申しては何ですが竹下中部支部長の亡き後、従来副支部長であった岡本志良氏が今般支部長として鈴木会長より委嘱されましたので併せて御報告申し上げます。

それではこの方々の御冥福をお祈りして御一諸に黙禱を捧げたいと存じます。

黙禱始め。 黙禱終り。

有難う御座居ました。次に今年喜寿に当られる植田三男さん及び米寿の十四名の方々はここに揭示させて頂いておりますが日頃御健康に対する御節制の賜物と満腔の敬意と賛辞を捧げる次第であります。後程どなたかその秘伝の一端を是非伺がわさして頂きたいと存じます。又これ等の方々には御誕生日迄に記念の銀杯等をお贈りする様になっておりますので御諒承の程お願い致します。次に本年度の全国大会についてであります。未だ何等具体的に固まっておりますが日取りは

大体五月中旬。場所は我々にとつて若かりし日の想出多い須磨の地を考えて居ります。

辰巳会新年例会名簿

平成元年一月十九日(木曜日) 於 東明閣

阿部 孫治 高畑 千代	浅子 謙一 高畑 幸	安東 恒子 植 五百刀	五十嵐 恒子 植 五百刀	井上 好正 外島 健吉	岩永 英三 花井 嘉夫	小倉 五郎 板東 みどり	大谷 一平 高義 有一	奥田 淳子 福沢 健一	楓田 雅之 藤下 重男	鍵田 文夫 南前 義夫	金子 裕夫 森前 好子	城戸 喜夫 安並 正道	木下 清三郎 柳田 直江	北尾 素子 柳田 政江	山本 富美子 山田 作之助	源島 富美子 山田 作之助	小林 俊夫 山本 秀子	小村 良弼 横田 秀子	鈴木 治雄 横田 秀子	曾根 好雄 計 四十八名
-------------	------------	-------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	-------------	---------------	---------------	-------------	-------------	-------------	--------------